第27回 SHONAN KAMAKURA PHILHARMONIC ORCHESTRA Subscription Concert Vol.27

湘南鎌倉フィルハーモニック管弦楽団 25周年記念演奏会

～身体にいい音楽会～

©ヒダキトモコ

©山吹康男

徳永二男（指揮・ヴァイオリン）、小林美樹（ヴァイオリン）
湘南鎌倉フィルハーモニック管弦楽団　長原幸太（コンサートマスター）

J.S.バッハ：
2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043
ヴァイオリン 徳永二男／小林美樹

ベートーヴェン：
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61
ヴァイオリン 小林美樹

～ドクターズトーク「作曲家の病と音楽」～
お話：小林修三（湘南鎌倉総合病院院長）

ベートーヴェン：
交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」

2025
3.2［日］
13:15開場／14:00開演　**鎌倉芸術館大ホール**
Sunday, 2 March, 2025, 2p.m. at KAMAKURA PERFORMING ARTS CENTER

【入場料】全席指定 一般¥4,000（癒しの医療を考える会会員¥3,500／鎌倉芸術館、リリスホール、島森書店店頭でのみの取り扱い。会員証の提示が必要です。）
学生¥2,000 ※25歳以下。当日は学生証をご持参ください。

【チケットご予約】
12月7日（土）
発売

鎌倉芸術館チケットセンター　TEL. 0120-1192-40（10:00～19:00休館日を除く）https://kamakura-kpac.jp/ticket/
横浜市栄区民文化センターリリスホール　TEL.045-896-2000（9:00～21:00窓口販売のみ）
島森書店（鎌倉駅東口前）　TEL.0467-22-0266
イープラス　https://eplus.jp/〈PC＆携帯〉
チケットぴあ　https://t.pia.jp/（Pコード 284-390）〈PC＆携帯〉
ローソンチケット　https://l-tike.com/（Lコード 32187）〈PC＆携帯〉

神奈川文化プログラム MAGCUL マグカル

主催・お問合せ: NPO法人癒しの医療を考える会事務局　TEL.050-6868-9986　E-mail：iyashinoiryo2006@yahoo.co.jp
共催：鎌倉市　後援：神奈川県・鎌倉市教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会　制作協力：㈱AMATI
※未就学児童の入場はご遠慮ください。※やむをえない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。

湘南鎌倉フィルハーモニック管弦楽団
～トッププレイヤーによる一年に一度の特別なオーケストラ

在京有名プロオーケストラのメンバーや普段はソリストとしての活動を中心に演奏されている方々が参集するこの特別なオーケストラは、NPO法人癒しの医療を考える会の活動に賛同してくださる演奏家にご出演いただき、一年に一度湘南の地で演奏会を開催しています。
癒しの医療を考える会は、音楽の持つ力が希望になり、病に打ち勝つ力になってほしいとの思いを実現するために2000年から音楽会を開催してまいりました。この小さな活動をご理解くださる音楽家と企業の皆様、そして会員の皆様のお力に支えられ、おかげさまで2025年は25周年を迎えることとなりました。日本全国で活躍されているプロの演奏家の皆さんが、このオーケストラで演奏することは他で得ることのできない体験であるとおっしゃって出演してくださることは感謝の念に堪えません。会場にお迎えする幅広い年代のお客様と共に、音楽の持つ力を感じ、命について考えるひとときとなれば幸いです。

©ヒダキトモコ

徳永 二男
［指揮］
Tsugio TOKUNAGA,
Conductor

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。
2024年4月から広島交響楽団ミュージック・アドバイザーに就任。
ヴァイオリニストの父茂および鷲見三郎氏に師事。桐朋学園にて齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。68年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。76年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。長年、ソロ・コンサートマスターの重責を担う。N響在籍時代より欧米から招かれる。とりわけケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演でのサヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートは絶賛を博した。94年にN響を退団し、ソロ、室内楽に専念。92年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰し、95年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、96年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年から2024年まで音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。
ソリストとしては、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など国内外のオーケストラからたびたび招かれている。08年から毎年東京でリサイタルを行うほか、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。16年には、楽壇生活50周年を迎え、文化庁長官表彰を受ける。20年に仲道郁代氏と行ったベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会は大きな注目を集めた。
CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、パガニーニのカプリースなどリリース多数。桐朋学園大学特命教授。

©山吹康男

小林 美樹
［ヴァイオリン］
Miki KOBAYASHI,
Violin

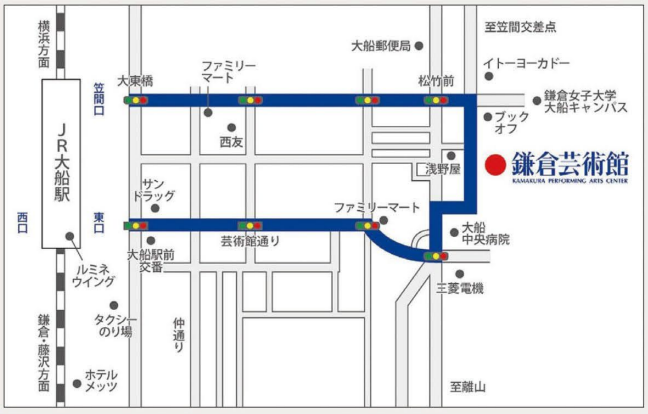
レオポルド・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールにてギドン・クレーメル氏より審査員特別賞を受賞後、5年に一度ポーランドで行われ伝統と格式あるヴィエニャフスキー国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞している。確固たるテクニックにもとづく、歌心豊かな大きな演奏と艶やかな美音で常に注目を集めて来た。国内主要オーケストラと共演する他、マキシム・ヴェンゲーロフ氏からの信頼も厚く、彼から推薦を受けたポーランド主要オーケストラとも共演している。2016年春のトヨタ・マスタープレイヤーズ・ウィーンではソリストに抜擢され国内4都市でのツアーではウィーンフィルコンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデ氏と共演し注目を集めた。紀尾井ホールほか各地でのリサイタルや、宮崎国際音楽祭・鎌倉芸術館ゾリステンなど室内楽にも力を発揮するほか、NHK　はじめ「題名のない音楽会」などテレビにも度々出演し多くのファンを獲得している。2013年第24回出光音楽賞を受賞するとともに、これまでに「レコード芸術」誌の特選盤・推薦盤を含む4枚のCDをリリースしている。桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに特待生として入学後、明治安田クオリティオブライフ及びロームミュージックファンデーションから全額奨学金を得てパヴェル・ヴェルニコフ氏のもとウィーン私立音大で学んだ。これまでに徳永二男氏から多くの薫陶を受けたほか室内楽は東京クアルテット、毛利伯郎・岩崎洸の各氏に学んでいる。

最新の情報は、
NPO 法人癒しの医療を考える会の
ホームページをご覧ください。
https://iyashinoiryo.com

公式ホームページ　X（旧Twitter）　Youtube

ドクターズトーク

小林 修三
［医学博士］
Shuzo KOBAYASHI,
Doctor of Medicine

NPO法人癒しの医療を考える会 理事長。湘南鎌倉総合病院 院長。
日本内科学会元評議員、日本腎臓学会功労会員、日本音楽療法学会顧問など、学会役員多数。昭和音楽大学客員教授も務める。
著書には「ベートーヴェン・ブラームス・モーツァルトその音楽と病」「間違いだらけの病院選び」「モーツァルトで免疫力を鍛えるコツ」等がある。

会場のご案内（JR大船駅から徒歩約10分）